

自由民権運動の失速と再燃

国会開設の勅諭公布後、自由民権運動は政権獲得を目指す段階へと進み、自由党・立憲改進黨などが結成された。しかし、各政党内には政府の抑圧・懐柔で亀裂が生じた。統率力を失った自由党、党首を失った立憲改進黨は解散し、自由民権運動は失速した。運動の再燃は、条約改正案への批判の激化を待たねばならなかった。

○自由民権運動の失速

●手を引く者と激化させる者

1881年からの大蔵卿松方正義まつかたまさよしによる⁽¹⁾ _____ は、物価を下落させた。
 ⇒農村の多くの者は、米・繭まゆなどの換金で生計を立てるため、物価下落で窮乏した。
 ⇒生活難の者は、自由民権運動から手を引く、あるいは運動を激化させた。

●政党の内外の紛糾

国会開設の勅諭公布後、政府は、政権獲得を目指す自由民権運動の抑圧に臨んだ。

①1882年、集会条例改正

…政党の支部設置の禁止

②自由党の党首板垣退助の懐柔計画

…政府が、板垣退助の欧米旅行費を三井に援助させ、反政府感情の緩和



立憲改進黨は、旅行費の出所について、自由党を非難した。

→自由党も、立憲改進黨の党首大隈重信と三菱の結託を非難した。

⇒政党同士の対立や政党内部の争いで、党内の統率力は失われた。



図1 板垣退助



図2 大隈重信

●運動の過激化と自由党の解散

自由党員や農民は、政府の不況下の増税や政党弾圧を受け、直接行動に臨んだ。

⇒次の過激な事件と鎮圧の繰り返いで、自由民権運動は次第に衰退していった。

①1882年、⁽²⁾ _____

…福島県令⁽³⁾ _____ が、労役で県道をつくろうとし、農民が抵抗した事件

…自由党は訴訟で支援しただけだが、(3)が⁽⁴⁾ _____ を首謀者として検挙し、

この事件を皮切りに、各地で自由党の過激行動が頻発

②1884年、⁽⁵⁾ _____

…栃木県令に転任した三島通庸の圧政に対し、自由党員が県令暗殺を計画した事件

…この事件直後、自由党は党内の統率に自信を失って解散

③1884年、⁽⁶⁾ _____

…埼玉県秩父地方の農民が、旧自由党員の指導で⁽⁷⁾ _____ を組織し、
 負債の減免を求めて高利貸・警察・役所を襲撃し、軍隊派遣に発展した事件

④1885年、⁽⁸⁾ _____

…旧自由党員⁽⁹⁾ _____ や⁽¹⁰⁾ _____ が、独立党の政権樹立を助けて、
 日本人の政治への関心を喚起しようとし、逮捕された事件

◇1884年、朝鮮の親日派金玉均きんぎょくきんら独立党が、服属していた清からの独立と、
 朝鮮の内政改革を目指して政権獲得に挑み失敗（甲申事変）



図3 三島通庸



図4 河野広中



図5 自由党の騒擾事件

●立憲改進黨の弱体化

1884年、立憲改進黨の党首大隈重信が離党し、立憲改進黨は勢力を弱めた。

◇大隈重信…離党後、外交手腕を買われ、井上馨^{かおる}の後任の外相として政府に復帰

○条約改正③と運動の再燃

●鹿鳴館外交

岩倉具視^{ともみ}・寺島宗則^{むねのり}の条約改正交渉の失敗後、外務卿⁽¹¹⁾ _____ が後を継いだ。

⇒1882年、(11)は東京で欧米の代表との予備会議を開き、86年から正式会議に移した。



(11)は、改正のために欧米の歓心を買おうと、極端な政策⁽¹²⁾ _____ をとった。

⇒(12)は、英人⁽¹³⁾ _____ が設計した⁽¹⁴⁾ _____ での舞踏会に象徴され、

日常からかけ離れた軽薄な西洋の真似事だと批判された。



図5 欧化政策の風刺画

●不平等条約への強まる反感

1886年、⁽¹⁵⁾ _____

…神戸に向かう英貨物船が難破し、英人船長ら乗組員は無事に脱出したが、日本人船客25人が船中に残されて水死した事件

…事件の裁判は、⁽¹⁶⁾ _____ に従って英領事がおこない、全乗組員が無罪判決（再審で船長のみ禁固3ヶ月）

⇒この一件を契機に、世論は条約改正による(16)の撤廃を強く求めた。



図6 「メンザレ号の救助」

●条件付きの改正案

1887年、欧米諸国は⁽¹⁷⁾ _____ を撤廃する改正案に、次の条件付きで一応了承した。

①被告が外国人の裁判では、半数以上の外国人判事を採用

②外国人に日本国内での居住・旅行・営業を許可⁽¹⁸⁾ _____)

⇒政府内部にさえも、上の条件は国家主権の侵害であると批判が起こった。



図7 井上馨

●運動の再燃と交渉の中止

国会開設の年「1890年」が近づくと、自由民権運動は息を吹き返し始めた。

⇒旧自由党員星亨^{ほしとおる}・⁽¹⁹⁾ _____ は、思想の小異よりも目的の大同を優先し、立憲改進黨と団結して国会開設に備えようと⁽²⁰⁾ _____ を推進した。



1887年、⁽²¹⁾ _____ は、井上馨外相の条約改正交渉への反対に、次の3つを主張する⁽²²⁾ _____ を推進した。

→①地租の軽減②言論・集会の自由③外交失策の回復（対等条約の締結）

⇒井上馨外相の交渉は、政府内部からの批判や民衆からの批判を受けて中止された。



図8 後藤象二郎

●運動再燃への対処

1887年、⁽²³⁾ _____ 公布

…内乱陰謀・治安妨害の疑いがある者を遠方へ追放する法令で、星亨らを追放



図9 星亨